

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童サポートこころⅡ			
○保護者評価実施期間	令和 7年 3月 21日		～	令和 7年 5月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	5
○従業者評価実施期間	令和 7年 3月 21日		～	令和 7年 5月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 4月 30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の強みは、広い環境にて、自然や外活動、小動物・昆虫と触れ合いながら、活動ができる事です。活動を通してコミュニケーションが生まれ、次に行いたい活動が生まれてきます。	家族支援を理念にスタッフの意識を統一しているため、親からの相談がどのスタッフでも対応できるようになっている。情報共有も毎日のミーティングにて行っている。	個別支援の中で、教育と療育の支援をスタッフ全員で向上した支援ができるよう勉強会を通して学びにつなげて行きます。
2	専門スタッフによる、個別対応を行っており、児童の特性に応じた対応を心がけている。	日頃から、新たな活動を取り入れながら、児童が自発的にやりたいことや目標を持てるように支援している。	インクルシブを念頭に、日ごろから家族支援・地域交流も含めた支援を徹底していく。
3	日頃から、地域とのふれあい情報交換を密に行っており、地域との交流会や、イベントを親子で参加できるように企画している。また、年2回の親子会も企画しており、話ができる場所の設定を行っている。	BCPを活用しながら、日頃、災害について周知し、避難訓練・地域との災害訓練等を、地域で取り組んでいる。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童の心理的な支援を強化していく必要がある。外部の専門スタッフによる、分析・評価を利用しながら支援につなげているが、今後は緊急の対応ができるよう検討していきたい。	両親のレスパイトケアも必要と考える。日中一時支援サービスも導入しながら支援している。今後は、スタッフの配置を強化できるよう検討していく。	地域連携を通して、他事業所との意見交換会を設置し支援の在り方について学んでいく。
2	SNS・ホームページを活用した情報発信がまだまだ改善が必要。個人情報の観点から、検討しながら改善していきたい。	地域（学校・医療）との連携の強化をこれからも必要と考える。地域資源を活用し、児童の成長と自立に向けてこれからも支援していく。	
3	家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)を活用した支援体制の強化を行っていく。		